



図 6.3.2 施業計画案 (前珊瑚)

表 6.3.4 樹群択伐対象区画選定表（瑞穂）

ブロック番号				ブロック①										ブロック②					平均	
樹群伐採区画番号				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
基本データ	立木本数	N	(本/ha)	(DBH6cm以上)	325	125	375	475	275	450	225	150	150	75	225	75	200	375	350	257
		L	(本/ha)	(DBH6cm以上)	425	650	325	425	600	325	275	250	125	300	625	625	825	675	250	447
		小計	(本/ha)	(DBH6cm以上)	750	775	700	900	875	775	500	400	275	375	850	700	1,025	1,050	600	703
	材積	N	(m3/ha)	(DBH6cm以上)	131.00	19.50	82.50	211.00	39.75	181.50	100.25	180.75	219.50	111.25	288.25	171.75	186.00	271.00	272.75	164.45
		L	(m3/ha)	(DBH6cm以上)	223.25	210.75	120.75	158.25	300.00	111.25	339.75	101.00	42.00	143.50	100.75	102.00	88.00	124.25	15.25	145.38
		小計	(m3/ha)	(DBH6cm以上)	354.25	230.25	203.25	369.25	339.75	292.75	440.00	281.75	261.50	254.75	389.00	273.75	274.00	395.25	288.00	309.83
初回伐採対象区画の選定	立木本数	NL	(本/ha)	(DBH6cm以上)	750	775	700	900	875	775	500	400	275	375	850	700	1,025	1,050	600	703
	小中径木本数	NL	(本/ha)	(DBH6cm～34cm)	600	650	650	700	725	650	250	275	175	250	725	600	925	950	500	575
	母樹・成長衰退木 (トドマツ大径木)	材積	(m3/ha)	(トドマツDBH50cm以上)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52.00	58.25	186.00	81.25	53.25	131.00	0.00	51.75	0.00	40.90
	母樹・成長衰退木 (広葉樹大径木)	材積	(m3/ha)	(広葉樹DBH40cm以上)	186.75	87.50	58.25	39.75	131.50	41.00	324.75	53.00	0.00	56.50	0.00	0.00	0.00	25.50	0.00	66.97
		樹種名・胸高直径				ミズナラ44・48・68 イタヤ52	ハギリ40・40・44 シナ40	イタヤ58	ミズナラ60	ダケカンパ42 シナ40・40・42・44	ミズナラ48	ミズナラ44・46・46・48・50・66 ダケカンパ54 ハギリ44	ハギリ44 材ノキ40	-	ハギリ42・44	-	-	-	ダケカンパ42	-
	初回伐採対象区画					△	△	△						○			○			
選定理由				<p>小中径木本数が少ない伐採区画7・8・9・10から1区画選定する。伐採区画7は広葉樹大径木が非常に多いことから、周囲にこれらの後継木が確保されるまで存置することとする。それ以外の伐採区画8・9・10のうち、最も小中径木本数が少なく、トドマツ大径木が多く広葉樹大径木がない伐採区画9を初回対象とする。</p> <p>次に全体配置を考慮し伐採区画1・2・3・4・5から1区画選定する。小中径木本数には大きな差はなく、広葉樹大径木の量のみ異なる。母樹として活用できる広葉樹大径木が多い伐採区画1・5は初回対象とせず、伐採区画2・3・4の広葉樹大径木の成長衰退具合を現地確認し1区画選定する。</p>										<p>蓄積・立木本数・小中径木本数ともに択伐林型に該当する伐採区画13・14は初回対象としない。残った伐採区画11・12・15を比較すると、小中径木本数・広葉樹大径木に大きな差はないので、トドマツ大径木の多い伐採区画12を初回伐採対象とする。</p> <p>詳細調査を実施していない5つの伐採区画をオルソ画像で見ると、樹冠が開けている林分が多いことから、現地確認しここから1区画を初回伐採区画として選定する。</p>						

